

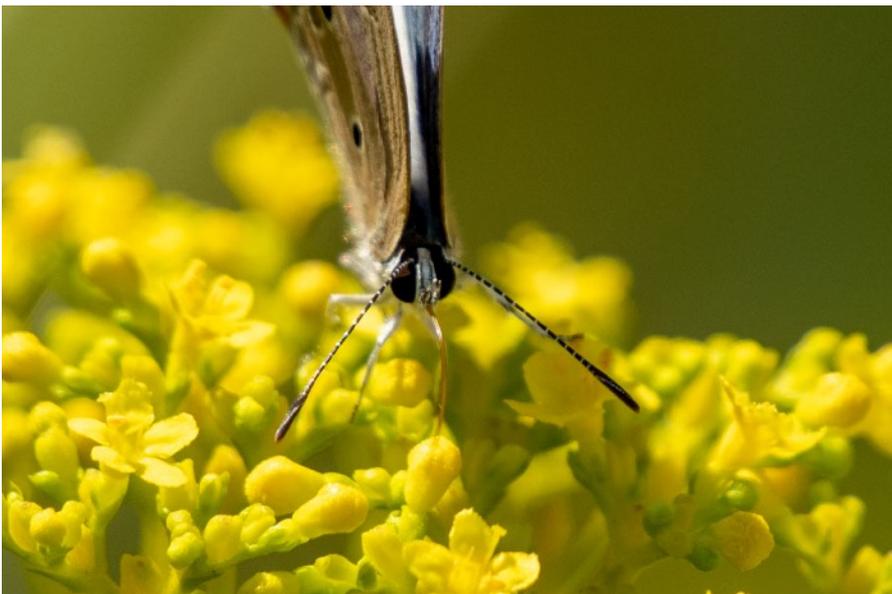
# いろいろ…

校庭の南東角の花壇。向かって左半分はヒマワリやコスモスなど草花を栽培し、右半分はハギ、オミナエシなど、秋の七草をはじめとした山野草を栽培しています。その花壇に…。



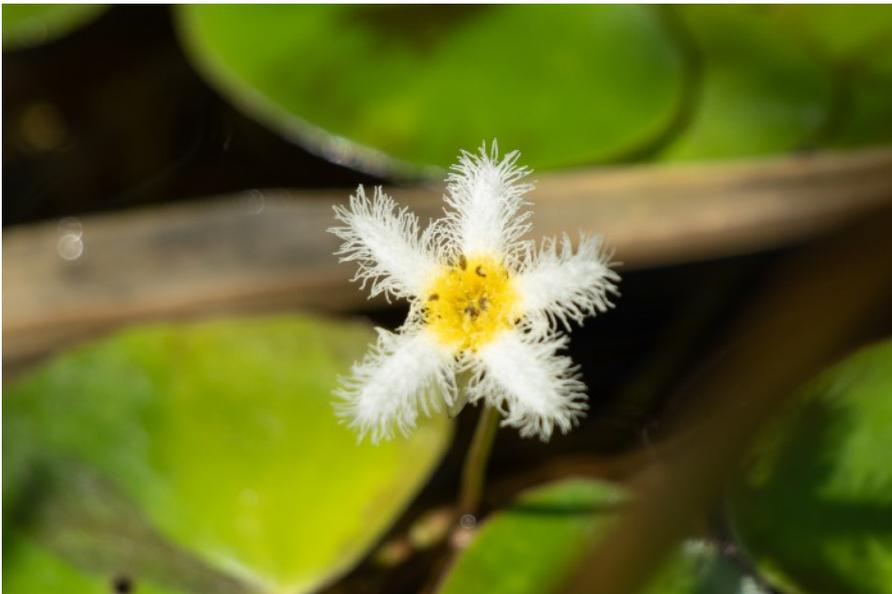
オミナエシの花に見  
なれないシジミチョ  
ウが！

後ろの羽に角のようなものがあるので、ツバメシジミかと思ったのですが、模様が違います。前回、夏の生き物調査の時に見つかったウラナミシジミかと思ったのですが、黒い斑点があるところが違うようなのです。複数のウェブサイト上のシジミチョウの写真を見比べた結果、クロマダラソテツシジミではないかと判断しました。



オミナエシの花の蜜  
をさかんに吸う、ク  
ロマダラソテツシジ  
ミ。

もともと、石垣島など南西諸島で見つかった南方系のチョウだそうです。近年、急速に分布域を広げ、大阪でも見られるようになってきているそうです。



小さなプラ舟で作った池に、ガガブタの花が咲き始めました。

昨年のもより小さい花ですが、今年も咲いてくれました。水辺の環境悪化に伴い、自然界では数を減らしているのだそうです。

花壇のヒマワリに小鳥が3羽、飛んできました。



キリキリ、キリキリ  
いつもの鳴き声。

この鳴き声はカワラヒワです。

この写真では分かりづらいと思いますが、写真の個体には、腹部に茶色い細かな縦班が入っています。今年巣立った幼鳥と思われます。

カワラヒワは夏の間も頻繁に校庭で見かけました。なので、幼鳥が見られるということは近くで繁殖していたのではないかと考えています。本田小学校には、春から夏にかけてのアブラナの実、秋のヒマワリの実など、カワラヒワの好きな餌が豊富にあります。

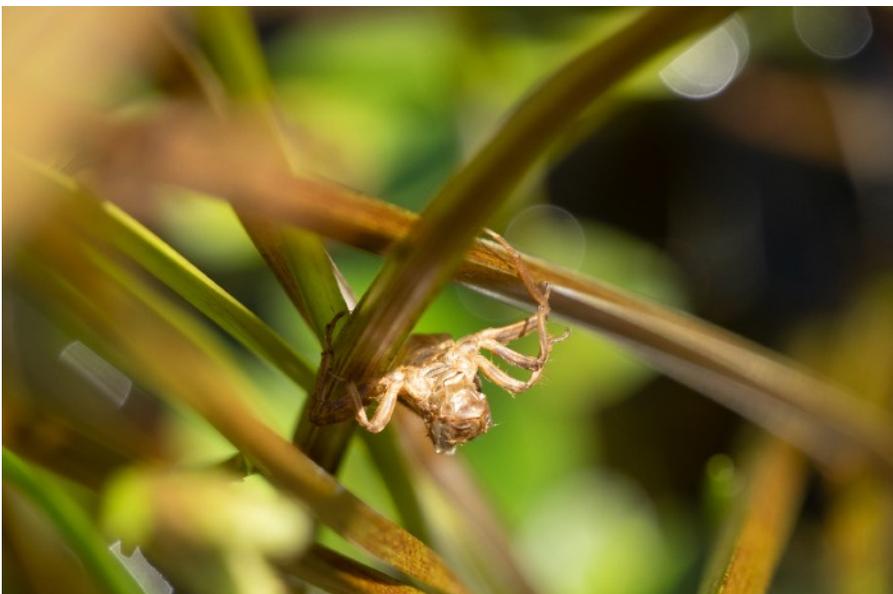
ということは…。



逆さまになって、  
ヒマワリの実をつい  
ばんでいます。



このように、くちば  
しが届くはんいのヒ  
マワリの実を上手に  
抜き取って食べてし  
まいます。



あの小さな池の水  
生植物に、また新た  
なヤゴの抜け殻が。

このように、エサとなる植物を植えたり、住みかとなる環境を作ったりすると、いろんな生き物たちがやってきます。

季節は秋。これからどんな生物たちがやってくるのでしょうか。楽しみです。